KSKP「共同連」大会案内号　通巻 11377 号　2019年6月27日発行　第3種郵便物承認

KSKP 共同連
特定非営利活動法人
共同連　機関紙

れざみ

Les Amis

KSKP「共同連」大会案内号　通巻11377号　2019年6月27日発行　1984年8月20日　第3種郵便物承認　毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日発行)

2019 大会案内号

第36回共同連全国大会 in 愛知
（共同連 結成35周年 記念大会）

「今こそ『共働』へ！
社会的協同組合への道を」

日程　2019年9月13日(金)～16日(月・祝)

場所　ウィルあいち　〒461-0016 名古屋市東区上竪杉町1番地

名古屋大学　〒464-0814 名古屋市千種区不老町1

ソーネおおぞね　〒462-0810 名古屋市北区山田二丁目11-62 大曽根住宅1棟1階

■主　催　特定非営利活動法人 共同連
第36回共同連全国大会 in 愛知 実行委員会

■後　援（予定）　厚生労働省、愛知県、名古屋市、社会福祉法人愛知県社会福祉協議会、社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会、公益財団法人ヤマト福祉財団 他

名古屋市北区大曽根 4-7-28 kyodoren@gmail.com
TEL：052-916-5308　FAX：052-938-5309
URL：http://kyodoren.org/

第 36 回共同連全国大会 in 愛知　開催要項

開催趣旨

「節目となる 35 周年大会」

この大会は、共同連結成 35 周年を記念する節目となる重要な大会となります。共同連は、2007 年第 24 回宮城大会以降、社会的事業所の創出のため社会的事業所促進法の制定を基本的方針として掲げてきましたが、もはや 2013 年以降の 6 年間全く何の前進も生まれていません。

世界の中では、1991 年イタリアに社会的協同組合法が制定されて以来、ヨーロッパ、アメリカ、アジア、アフリカと多くの国々に障害者をはじめとする社会的に排除されている人々と共に働く社会的協同組合や社会的企業の法制度が整備されています。隣国韓国では、東アジアで最初に、2007 年に社会的企業育成法を制定し、続いて 2012 年に協同組合基本法が制定され、社会的協同組合が認められるようになりました。更に社会的経済基本法の制定がめざされており、着実にその発展の歩みが刻まれています。

「社会的協同組合の必要性」

共同連はイタリアの取組みにヒントを得て、障害のある人ない人の共働事業所から障害者だけでなく他の社会的に排除されている人々とも共に働く場をめざそうとして、それを「社会的事業所」と命名しました。韓国のように法制度化が進まない中、社会的事業所は理念上の存在でしかなく、具体的な拡がりは見えない状態です。

一方、先進国の中で唯一働く人々の協同組合が無かったわが国にようやく労働者協同組合法制定が現実化しており、イタリアがそうであったように、その先に社会的協同組合を展望できる可能性があります。そもそも障害のある人もない人も対等に一組合員として働き運営していく協同組合は、共同連の求める「共働」により沿った形態でもあります。

「全国的な『共働』に向けた連帯を」

2 年前の滋賀大会でも、今回と同様に日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会、ワーカーズ・コレクティブネットワークジャパン、ホームレス支援全国ネットワークの代表に集まっていただき、共同連と一緒に、社会的に排除されている人々のこれからの就労の充実をめざして連携していくことを確認しました。今大会では、再び各団体の代表が一同に会し、雇う・雇われる関係ではない「共に働く」という関係の上に成り立つ労働の場の拡がりをどのようにつくっていくのか、一層の連帯の形成をめざしていきたいと考えています。そのキーワードは「社会的協同組合」。

「愛知では 10 年ぶりの大会」

10 年前の大会では、湯浅誠さんをゲストとしてホームレスの人々も参加しての公演イベントなどを行いました。今大会は、前日イベントとして全国の障害者がつくり・参加する演劇グループの演劇祭を皮切りに、この地域での様々な取組み課題を学ぶ研修会、そして、地元の共生・共働の取組みの先駆的実践例の見学会などを行います。更に、韓国・日本の医療を中心とする協同組合の対談を通じ、愛知において協同組合による地域づくりの先駆的担い手である南医療生協の活動紹介など多様なこの地域の特色が明らかとなる大会でもあります。

「より地域での連帯を」

今から 3 年前、厚労省はこれからの福祉のあり方として、地域力を活用し、様々な垣根を越える地域共生社会の実現を掲げました。しかし、それはまだ何も進んでいません。そもそも期待される「地域力」なるものが存在するのでしょうか。むしろ地域は疲弊し、孤立化が進んでいるのではないでしょうか。愛知ではこの大会の後にワーカーズコープ東海事業本部主催の東海協同集会が開かれ、翌年初めにはワーカーズ・コレクティブの全国会議が名古屋で開かれます。この大会が全国的連帯を強めるとともに、それぞれの地域をより元気にしていく連帯への契機となればと願っています。

大会スケジュール

［第１日目］　９月１３日(金)

演劇祭	13:00～17:00	ソーネおおぞね

［第２日目］　９月１４日(土)　　受付開始 9:00

研修会	第１　名古屋城 EV 問題の今とこれから	9:30～11:45	ウィルあいち
	第２　障害者就労の仕事起こし		
	第３　一般就労支援の地域的課題		
	第４　障害者の普通高校入学の壁		
	第５　地域共同基金の設立		
	第６　資源循環地域共生の拠点づくり		
昼食		11:45～12:45	
全体会	開会式	12:45～17:00	
	記念講演		
	記念シンポジウム		
移動		17:00～18:30	
交流会	共同連　パフォーマンス大会	18:30～20:30	名古屋大学

［第３日目］　９月１５日(日)　　受付開始 9:00

分科会	第１　次世代交流―共同連のこれから	9:30～12:00	ウィルあいち
	第２　みんなで話そう		
	第３　社会的協同組合を展望する		
	第４　仕事起こしと事業運営		
	第５　制度から排除された就労困難者の働き方		
	第６　障害者雇用偽装から障害者公務員採用		
	第７　学校教育から排除される子ら		
	第８　居住支援をどう拡げる		
昼食		12:00～13:00	
全体会	日韓医療協同組合対談	13:00～16:00	
	閉会式		
移動		16:00～16:30	
お買い物＆夕食会 in ソーネおおぞね		16:30～19:00	ソーネおおぞね

［第４日目］　９月１６日（月・祝）受付開始 9:00

見学会　（わっぱ共生共働センター前集合）	9:30～14:00	各事業所

第１日目　演劇祭 ＜１３日(金)　13：00～17：00＞

① 社会福祉法人共生シンフォニー　まちかどプロジェクト（滋賀・大津市）

1986 年障害者小規模作業所「今日も一日がんばった本舗共働作業所」として始まり、1996 年「がんばカンパニー」と「まちかどプロジェクト」に分かれ 2001 年社会福祉法人共生シンフォニーが設立される。2003 年から始まった障害者演劇集団「まちプロー座」として今日まで講演活動を続ける。「障害を持っても、持たなくても舞台に立てば一人の役者。台詞に込めて人と人として出会えると気づきました。いつかどこかでの舞台でいろんな貴方と出会いたい。それぞれの人生や心のうちをありのままに伝えられる。そんな気持ちで舞台を続けています。」

②ライフステーションワンステップ　かたつむり（東京・国立市）

「はるなが名古屋にやってきた」

1970 年代､1 年 9 ヶ月にわたる東京都庁前での座り込み闘争を担ってきた重度の身体障碍者三井絹子さんがつくりだした「ライフステーション　ワンステップかたつむり」。障害者が地域で生きることをめざす「かたつむり」の仲間に井上はるなさんが加わった。親から離れ地域でくらすはるなさんの笑いあり、涙ありのドラマ。

③共働事業所　かすみ荘（大阪・河内長野市）

1995 年障害を持つ新たな一人が共に働く共働事業所を開設。重度の身体障害の人たちの「地域で普通にくらしたい、お金を稼ぎたい」という思いから出発。現在は様々の障害を持つ人、持たない人で運営委員会を作り、話し合って運営。リサイクルショップ、リネン工場など多種の仕事を行う。2005 年にかすみ荘劇団をつくり、各地で公演を行う。

自慢の商品販売ブース

※詳細は未定

今大会も期間中の様々な場面で、各団体自慢の商品を販売・展示するブースを設けます。それぞれ自慢の商品を全国の方々に知っていただくチャンスです！

食べ物から雑貨、Ｔシャツなど様々な商品を売り買いしながら、大会をさらに盛り上げていきましょう!!

【応募方法】

別途申込書に必要事項を記入し、ＦＡＸまたはメールでお送りください。

※必ず事前申し込みが必要です　　申込期限：2019 年８月 20 日（火）

第２日目 研修会・全体会＜１４日(土)　９：３０～１７：００＞

研修会　９：30～11：45

第１研修会　名古屋城 EV 問題の今とこれから

名古屋城木造復元に際し、EV を設置しないとした河村名古屋市長。
今や石垣問題で身動きできなくなっている木造復元問題を全国でのバリアフリーの課題と共に考えます。

近藤佑次(名古屋城木造天守に EV 設置を実現する実行委員会)　　辻直哉(同左)
森本章夫(名古屋城総合事務所)

第２研修会　障害者就労の仕事起こし

Ａネットあいちが始まったのは 2017 年 2 月。愛知障害者就労共同・受注販売センターが生まれたのは 2018 年 4 月。東海地域の障害者事業所の仕事起こし、活性化をどう進めるのか。全国の事例と共に検討します。

和田邦康(みんなのわ)　大原由恵(NPO 法人楽歩)　清水崇志(㈱DIPPS)

第３研修会　一般就労支援の地域的課題

わっぱの会で、名古屋での障害者就労支援センターが始まったのは、1993 年。1990 年代後半より障害者の一般就労を応援する国や自治体の制度は充実したものの、一般就労支援は進んでいるのでしょうか。

酒井英夫、吉田、山辺(なごや障害者就業・生活支援センター)　宇野眞(ノックス葵)
角谷勝巳(障害者就労支援センターめいりは)　増田あけみ(就労継続支援 A 型ベーシック)

第４研修会　障害者の普通高校入学の壁

障害のある子が普通学校に行けるよう「共育」を求める運動が愛知で始まったのは 1980 年代。名古屋では小中学校への入学はしやすくなったとはいうものの、高校の壁は依然として厚い。いかにその壁を崩していくのか。

川本道代(名古屋「障害児・者」生活と教育を考える会)
高木ひろし(愛知県議会議員)　能美春紀・康子(高校二年浪人 西尾市)

第５研修会　地域共同基金の設立

今年１月生活困窮者の生活を応援する「地域共同基金」の準備会が始まりました。正式に地域共同基金が立ち上がり、出資や寄付の基金集め、それを運用・運営する会員集めが始まろうとしています。

三輪憲功(のわみ相談所)　日比英二(わっぱの会)
山内大輔(セカンドハーベスト名古屋)　白瀧征人(グラミン日本)

第６研修会　資源循環地域共生の拠点づくり

愛知県津島市のしげんカフェが始まったのは 2013 年。しげんカフェシステムズに加わる団体は 5 団体となり、東京にも拡がってきています。ソーネおおぞねでも、昨年から準備が始まり、更に地域のリサイクル拠点として発展しようとしています。

浅井直樹((一社)しげんカフェシステムズ)　齊藤有子(企業組合あうん)
和田安希代(ワーカーズ・コレクティブ スーユンタン)

全体会　12：45～17：00

開 会 式

開会挨拶　　連帯挨拶

記念講演

韓国における社会的経済の発展

講師　キム・インソンさん　韓国社会的企業振興院　院長

韓国においては 2007 年に社会的企業育成法が制定され、続いて 2012 年に協同組合基本法がつくられ、5 人の組合員が集まれば協同組合がつくれるようになり、社会的協同組合の設立も認められるようになった。更に社会的経済基本法の制定が目指されており、それには韓国の中に営利企業を中心とする競争経済とは異なるもう一つの社会的経済分野を強力に推進することになってくる。韓国の最新の動きを一緒に学びましょう。

記念シンポジウム

社会的に排除された人々との「共働」の道を求めて

発題者　古村伸宏さん　労働者協同組合連合会（ワーカーズコープ）　理事長
藤井恵里さん　ワーカーズ・コレクティブ ネットワークジャパン代表
奥田知志さん　ホームレス支援全国ネットワーク　理事長
斎藤縣三さん　共同連　全国事務局長
司　会　堀　利和さん　共同連　代表

日本において労働はあくまで雇う―雇われる雇用関係の上でしか存在せず、営利を目的とする一般企業が中心となって経済活動が進められ、その競争的労働市場に入り込めない人々が障害者だけでなく様々な人々の中で増え続けている。仕事を得ることができても不安定な非正規労働の割合も増している。それに対し、社会的に排除される人々と「共働」を求める動きも各地に拡がりをみせている。その中で世界に遅れてようやく日本においても「労働者協同組合法」が制定されようとしている。これを機に新たな動きをつくることはできないか、2 年前に滋賀の地に集まった 4 団体で更に深まりのある連帯の道を探る。

交流会＆パフォーマンス大会　14 日（土）18：30～20：30

毎年恒例の大宴会が今年も開催されます（＾○＾）ノ☆★　名古屋大学 南部食堂 1F
食べて、飲んで、歌って、はしゃいで、みんなで楽しい、おいしい時間になること間違いなし！！もちろん毎年大盛り上がりのパフォーマンス大会もやります。みんなの前で自慢のパフォーマンスを披露してみたい人、大募集！！
ダンス・バンド・アカペラ・マジック・漫才などなど、パフォーマンスの内容はなんでもＯＫ。たくさんのご参加お待ちしております！！

【応募方法】
別紙申し込み用紙に必要事項を記入し、ＦＡＸ・メールにてお送り下さい。
※必ず事前申し込みが必要です。　申込期限：2019 年８月 20 日（火）

第３日目 分科会・全体会 ＜１５日(日)９：３０～１６：００＞

分科会　９：30～12：00

第１分科会　次世代交流―共同連のこれから

「共働を創る３」を活用しての参加型ワークショップ。「共働をつくる３」を使って共同連の運動を学びながら、自分たち自身の今後について参加者同士で意見交換を行う。「すぐに出来ること」、「時間が必要なこと」、「予算立て」など今後１年の計画ラフ案をつくろう。

・わたしにとって共同連とは
・共同連があるとき、ないとき
・今後の共同連であれしよう、これしよう
・共同連初参加の方も含めた「入門＋次世代交流」

司　会　　荻野直人さん　わっぱの会
　　永田千砂さん　ちまちま工房　代表

第２分科会　みんなで話そう

①はたらくことを話そう
②「障害」の「がい」はひらがなの方がいい
③くらし方を考える

３つのテーマを話し合う。参加人数は 40～60 名を予定。主に参加者は他の分科会に参加が困難な障がい者。次世代交流のようなワークショップ形式で行います。原則分科会に申し込まれていない方は参加できないこととします。

司　会　　松本祐一さん　宮城アピール大行動実行委員会
　　他１、２名

第３分科会　社会的協同組合を展望する

これまで構想してきた社会的事業所は、あらゆる法人形態を対象として考えてきたが、今の制度の中では「社会的事業所」の考え方がなかなか浸透しにくい。新たに労働者協同組合法の制定が近づく中で、イタリアがそうであったように、新たな労働形態の中で社会的に排除された人々の労働参加の道が開かれる可能性が見えてくる。個々の実践事例を踏まえつつ、障害者就労の福祉からの脱却、制度利用のできない就労困難者が働く場としての「社会的協同組合」の可能性を探る。

発題者　　石本依子さん　センター事業団北海道　ブロック代表
　　荒川茂子さん　あうん企業組合　理事長
　　三輪憲功さん　のわみ相談所　代表
　　斎藤縣三さん　わっぱの会　代表
司　会　　石澤利巳さん　障害者活動支援センターライフ　顧問

第４分科会　仕事起こしと事業運営

「うまく行く運営～理念と経営の両立のためには」
　安定して生産・販売収入を増やすことは、共に働く上での基本です。しかしながら決して順調に売り上げが伸びるわけではありません。多くの一般企業でさえそのような状況にあるわけですから、何ら不思議なことではありませんが。それでも確実に成果を上げている事業所もあります。運営の形態・規模など違いはありますが、そこには必ず自分の事業所にも結び付けられるヒントがあるはずです。
　一方、事業そのものが私たちの目的ではありません。自分たちの理念を実現させるために事業があるはずです。売り上げだけにとらわれていては本末転倒です。
難しい課題ですが、情報交換と知恵と工夫と連携で、理念と経営の両立を目指しましょう。

発題者	加納尚明さん	ＮＰＯ法人札幌チャレンジド　理事長
	石頭悦さん	㈱幸呼来（さっこら）Japan 代表取締役
	久保寺一男さん	全Ａネット　理事長
	和田邦康さん	ソーネおおぞね　みんなのわ　責任者
司　会	飯嶋茂さん	NPO 法人麦の会　コッペ　理事長

第５分科会　制度から排除された就労困難者の働き方

　障害福祉サービスには難病者が含まれるようになりサービスを受けることが出来る様になりました。しかし、難病だけで障害者手帳は取得できず、雇用についての配慮もされる制度もありません。また、引きこもりの人達は、原因となる障害などを認定されなければ、福祉サービスは対象外です。
　障害認定されない様々な人達が働く場もなく苦しんでいます。このような人達を含めた共働の場をどうして作っていくのか？今回は、各分野でこのような人達の活動や支援に取り組んで織られる方々をお招きして、現状をお聞きしながら理解を深めたいと思います。

発題者	上野山裕久さん	NPO 法人京都難病支援パッショーネ・理事長
	杉村　康弘さん	NPO 法人三重ダルク
	土井　佳彦さん	NPO 法人多文化共生リソースセンター東海　理事長
司　会	堀　　利和さん	共同連　代表

第６分科会　障害者雇用偽装から障害者公務員採用

　昨年 8 月政府機関における障害者雇用水増しの実態が明らかにされ、大きな衝撃が走った。民間に率先して法定雇用率を順守するどころか、実際にはその半分しか雇っていないという雇用率偽装が行われていた。十分な反省・統括もないまま、4 千人もの障害者を雇うという。国会では障害者雇用促進法が改正され、初めて公的機関にも民間と同様の種々の取組みを求めることになる。
　なぜこのような事態が生じたのか。わが国の障害者雇用のあり方そのものを問う。

発題者	石橋通宏さん	参議院議員
	他２、３名	
司　会	白杉滋朗さん	企業組合ねっこの輪　理事長

第７分科会　学校教育から排除される子ら

「高校に行けない子ども達 ～ 排除のない学校をめざして ～ 」
　昨年９月の「第 13 回障害児の高校進学を実現する全国交流集会」において浮き彫りにされた、家庭からも学校からも社会からも排除されている子ども達の現状をより深く掘り下げていきたい。少しでも展望が開けることを願いながら・・

発題者	高坂朝人さん	愛知再非行防止センター
	飯田喜運さん	長久手子どもの学習支援事業
	他１名	
司　会	川本道代さん	名古屋「障害児・者」生活と教育を考える会

第８分科会　居住支援をどう拡げる

「社会的排除を受けている人の居住の課題をどのように進めるか」
　高齢者、障害者、子育て世帯、低所得者等、住宅の確保に配慮が必要な方が増加している。
　住宅セーフティネットの根幹である公営住宅については大幅な増加が見込めない状況にある。一方で、民間の空き家・空き室は増加していることから、それらの活用等や居住支援組織の充実を図った住宅セーフティネット制度改正が 2017 年 10 月からスタートした。障害者福祉の中にも居住（アパート等）探しの支援制度はある。そして、グループ等の制度住居の課題が論じられたが、制度外居住（アパート等）の課題はあまり論じられなかった。
　社会的排除を受けた方も安心して生活できる居住の確保に住宅セーフティネット制度改正でどのように活用できるか。全国で居住支援に積極的に取り組んでいる団体と今後の活動について検討したい。

発題者	藤井宏明さん	名古屋市住宅都市局住宅部住宅企画課　主査
	芝田　淳さん	やどかりサポートふるさとの会　理事長
	滝脇　憲さん	NPO 法人自立支援センターふるさとの会　常務理事
	西尾弘之さん	わっぱの会　ソーネ居住相談センター主任
司　会	羽田明史さん	わっぱの会　事務局長

大会協賛金ご協力のお願い

共同連の活動は、理念に共感する事業所や個人の支援によって
支えられておりますが、財政は非常に厳しい状況です。

今大会の運営のために、みなさまのご協力をお願いします！
１口　5,000 円　何口でも
〈送金先〉ゆうちょ銀行：記号 12190　番号 41928661（同行から）
店番 218　普通預金 4192866（他行から）

ご協力していただける方は、参加申込書の「申込/問い合わせ先」欄記載の
共同連事務局にご連絡ください。協賛金申込書をお送りいたします。

全体会　13：00～16：00

日韓医療協同組合対談

医療協同組合が地域を変える

対談者　申允灌(シンユンカン)さん　安山医療福祉社会的協同組合　専務理事
成瀬幸雄さん　南医療生協代表理事
通　訳　朱寧悳(ジュヨンドク)さん　安山医療福祉社会的協同組合　前副理事長
司　会　荻野直人さん　わっぱの会・第 36 回共同連全国大会 in 愛知実行委員会 事務局長

【 南医療生協 】
1969 年伊勢湾台風の救援活動に端を発し、名古屋市南部を中心に周辺自治体に拡がり、組合員約 9 万人を有する医療生協。この生協は生協病院を中心とした医療機関の展開にとどまらず、病院自体が地域に溶け込み組合員自身によって地域活動、福祉活動を広範に展開している。住民を中心とした理事会運営、生協運営がなされており、これからの地域づくりの全国的モデルの一つとなっている。

【 安山医療福祉社会的協同組合 】
ソウル市を取り巻く京畿道の協同組合協議会の有力メンバー。71 万人の安山市で医療生協として 2001 年に生まれ、6100 人の組合員は全国一。制度からこぼれ落ちる脆弱層や高齢者を支える社会的協同組合。かつて１万５千の工場のあった労働者の街から、労働運動・環境運動・協同組合運動、そして今は社会的連帯経済を担う。

閉会式

韓国障碍友権益問題研究所からの報告

金　正烈(キム　ジョンヨル)さん　韓国障碍友権益問題研究所　理事

分科会報告　　閉会挨拶

お買い物＆夕食会 in ソーネおおぞね 15日（日）16：30～19：00

【ソーネショップ】
ソーネおおぞねの５つの機能の１つで、わっぱ独自の手作りの店。①わっぱん・わっぱ製品のコーナー、②みんなのわのコーナー（愛知県内の障害者事業所の商品）、③愛知県内外の地域物産コーナー、④有機野菜のコーナー、⑤その他食品・雑貨。①と②をメインにしつつ、③と④の充実をはかることで他のスーパーやコンビニと異なる特色のあるお店づくりをめざす。

【ソーネカフェ】
ソーネおおぞねの中心的機能で、資源買取センターと連動して「しげんカフェ」を構成する。資源を持ってきて貯まるポイントで、現金よりもお得なランチ・ドリンク券と交換できる。ごはんは低農薬米、パンはわっぱん、野菜は有機野菜とできるだけ食の安全に配慮しつつ、メニューの充実をはかっている。店内は車いすでも余裕で移動できるよう広く、高齢者や障害者がゆったりと過ごせる。また、広いキッズスペースは絵本やおもちゃも多くあり親子連れも安心。名古屋市の街路樹をリサイクルした手作りのテーブルを使い、木の香りがあふれている。

第４日目 事業所見学会 ＜１６日(月・祝)９：３０～１４：００＞

１．名古屋市内コース

①南医療生協・・・9 ページ(日韓対談)参照

②ソーネおおぞね＋ゆいま～る大曽根

2018 年 3 月末に名古屋市にある県住宅供給公社管理の住宅 1 階にわっぱの会が創出した地域交流拠点「パンとみんなとしげんカフェ」のお店「ソーネおおぞね」です。築 46 年の古い住宅の中につくられた、広さ 1000 ㎡のスーパーの跡地空間であり、都会の中で衰退する地域を活性化する新たな試み。ここが障害ある人の働く場であるだけでなく地域の高齢者・女性を中心にみんなが労働及び社会参加する場。しげん買取センター、ショップ、カフェレストラン、フリースペース、なんでも相談所の 5 つの機能を有している。その住宅の 2 階から上にある分散型サービス付き高齢者住宅が「ゆいま～る大曽根」。約 50 ㎡バリアのない住まいで、元々の住民と交わって暮らす安心とつながりのある住まいです。

２．知多半島コース

①サポートイン南知多

昨年オープンした愛知県知多半島、南知多温泉郷の内海温泉にある古い温泉旅館を改築した所。2 階建てながらＥＶを設置し、各部屋に洋式トイレをつくるなど、とことん障害者・高齢者のバリアフリーこだわった福祉旅館。隣にはレストランもあり、精神障害者支援を行う東京ソテリアの会と一体的な組織である(株)マザーズの経営で、障害のある人は施設外就労として働く。

②ちた共働事業所

1994 年に始まった知多半島中央の武豊町でのわっぱの会の農業への取り組み。地元農家の全面的協力を得て定着し、2000 年には 2 階建ての農業物加工（小麦粉製粉・ジャム・漬物製造など）工場や相談事業所、居場所などの機能をもった事業所が完成。現在、田 4ha、畑 4ha を耕作し、精神障害のある人々と共に米・麦・大豆・野菜・果物などをつくる。無農薬有機農法にこだわった事業展開。

３．尾張北部コース

①小牧ワイナリー

2015 年社会福祉法人 AJU や岐阜県にあった修道院でのワインづくりの技術と設備を活用し、愛知県尾張北部・小牧市につくった知的障害者が中心に働くワイン工房。多治見と小牧の畑においてもブドウを栽培。前身は、2003 年 AJU 内の事業の中にワイン事業部をつくり多治見修道院でのブドウ畑栽培を始めたことによる。障害者 34 名定員でブドウ畑栽培、ワイン醸造、販売、カフェショップの運営などの仕事を担っている。

②セントラルキッチン春日井

社会福祉法人薫徳会が医療法人での病院給食の大量発注を土台にして 2009 年に設立された。クックテル方式での大量調理、大量配送、現地給食配膳などの仕事を行っている。春日井工場は 60 名の障害者が働く工場であり、多数の障害者に仕事を提供できる仕組みとして作られている。ただし、巨大な設備投資が必要となり、かつまた 365 日朝・昼・夜の食事提供が求められ、その運営・人材確保は大変である。

●会場案内図

ウィルあいち 愛知県女性総合センター

〒461-0016 名古屋市東区上竪杉町1番地
TEL：052-962-2511
FAX：052-962-2567

アクセス

- ●地下鉄「市役所」駅 2 番出口より東へ徒歩約 10 分
- ●名鉄瀬戸線「東大手」駅 南へ徒歩約 8 分
- ●基幹バス「市役所」下車 東へ徒歩約 10 分
- ●市バス幹名駅 1「市政資料館南」下車 北へ徒歩約 5 分

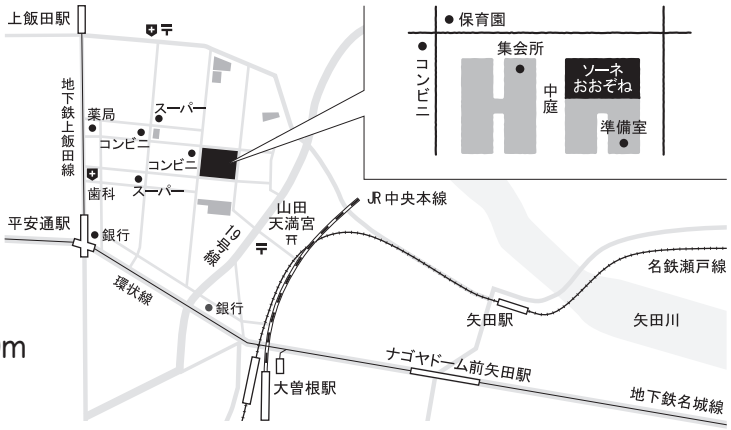
名古屋大学 南部食堂1階 Mei-dining

〒464-0814 名古屋市千種区不老町1　TEL：052-734-6100

ソーネおおぞね

〒462-0810 名古屋市北区山田二丁目 11-62
大曽根住宅1棟1階
TEL：052-910-1001
FAX：052-910-0018

- ●JR 中央線・地下鉄名城線・名鉄瀬戸線「大曽根」駅より900m
- ●地下鉄名城線・上飯田線「平安通」駅より900m
- ●名鉄小牧線「上飯田」駅より1.1km



□編集人　特定非営利活動法人 共同連
□全国事務局　〒462-0825 名古屋市北区大曽根4丁目 7-28 TEL052-916-5308 FAX052-938-5309
□E-mail　kyodoren@gmail.com
□頒価　200円
□発行人　関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町 2-2 東興ビル 4F

KSKP「共同連」大会案内号　通巻11377号　2019年6月27日発行　1984年8月20日　第3種郵便物承認　毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日発行)